

故障・異常の見分け方と処置方法

故障または、異常と判断する前に次の項目を点検し、再度点火操作をしてください。
それでも直らない場合は、「故障診断方法と処置」の項目(20ページ参照)にしたがって点検をおこなってください。

■FF-1600SBT

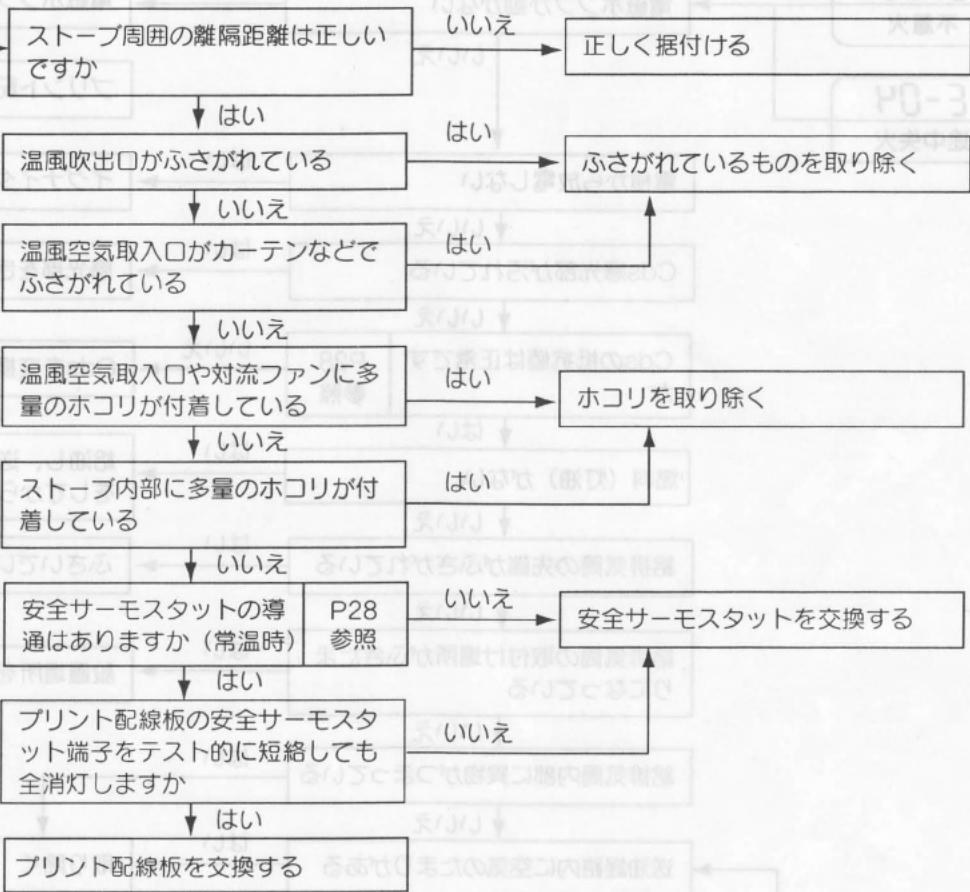
モニター表示	表示内容	点検項目
E-00	●排気管抜け検知装置が作動した	●排気管または、排気管の接続箇所、はずれているところはありませんか？ ●排気管抜け検知用リード線(灰色)がはずれていたり、断線していませんか？
E-01	●着火前に炎検知した	●Cdsがはずれていませんか？ ●Cds抵抗値は正常ですか？(28ページ参照)
E-02	●不着火	●油タンクに灯油が入っていますか？ ●油タンクの送油バルブは開いていますか？ ●油タンク内に水やゴミがたまっていますか？
E-04	●途中で失火した	●給排気筒の先端がふさがれていたり、内部に異物がつまったりしていませんか？ ●Cdsの感光部が汚れていませんか？
E-09	●対震自動消火装置が作動した	●ストーブにぶつかったり、強い衝撃を与えませんでしたか？ ●ストーブがグラグラしませんか？(水平に設置されていますか？)
E-10	●室温異常上昇防止装置が作動した	●部屋の温度が異常に上昇していませんか？ ●ルームサーミスタの抵抗値は正しいですか？(28ページ参照)
表示部 全消灯	●過熱防止装置が作動した (安全サーモスタット)	●温風吹出口がふさがれていたり、ストーブの前に障害物が置かれていませんか？ ●温風空気取入口がカーテンなどでふさがれていませんか？ また、温風空気取入口に多量のゴミやホコリが付着していませんか？
	●電源プラグがコンセントに差し込まれていない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？
E-EE	●停電があった	●停電しませんでしたか？

モニター表示
表示内容

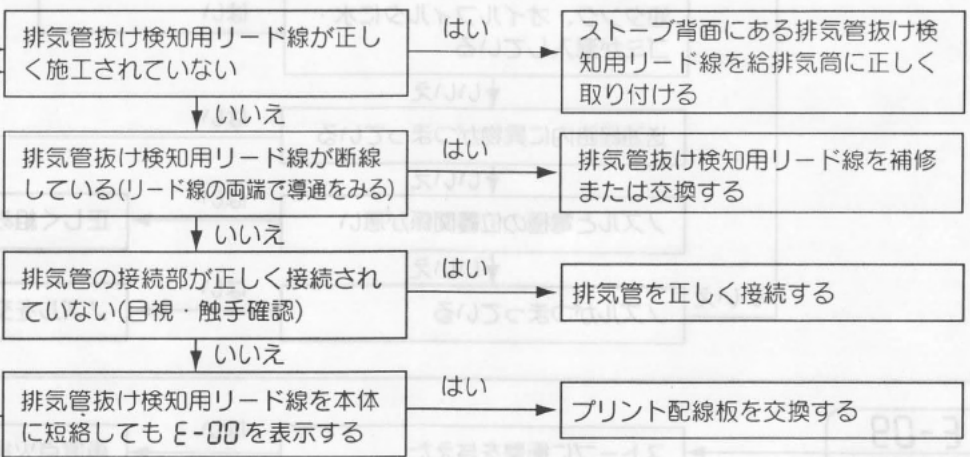
故障診断方法と処置

参照ページ

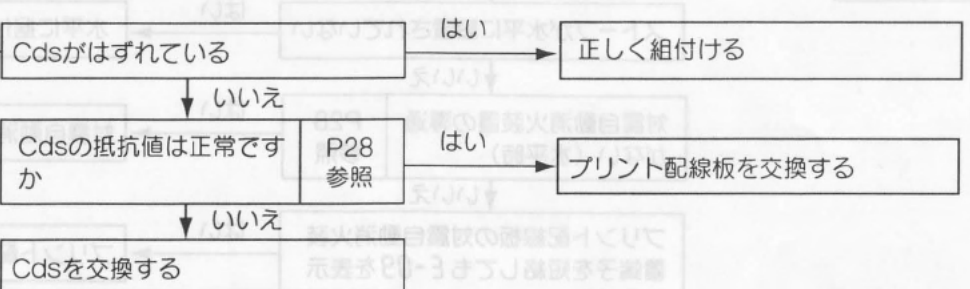
全消灯
過熱防止装置作動

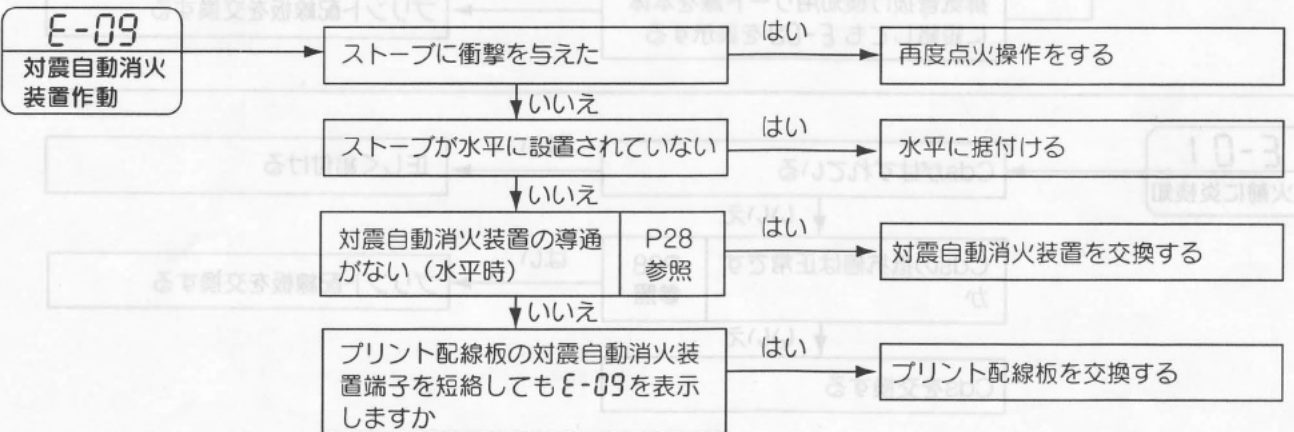
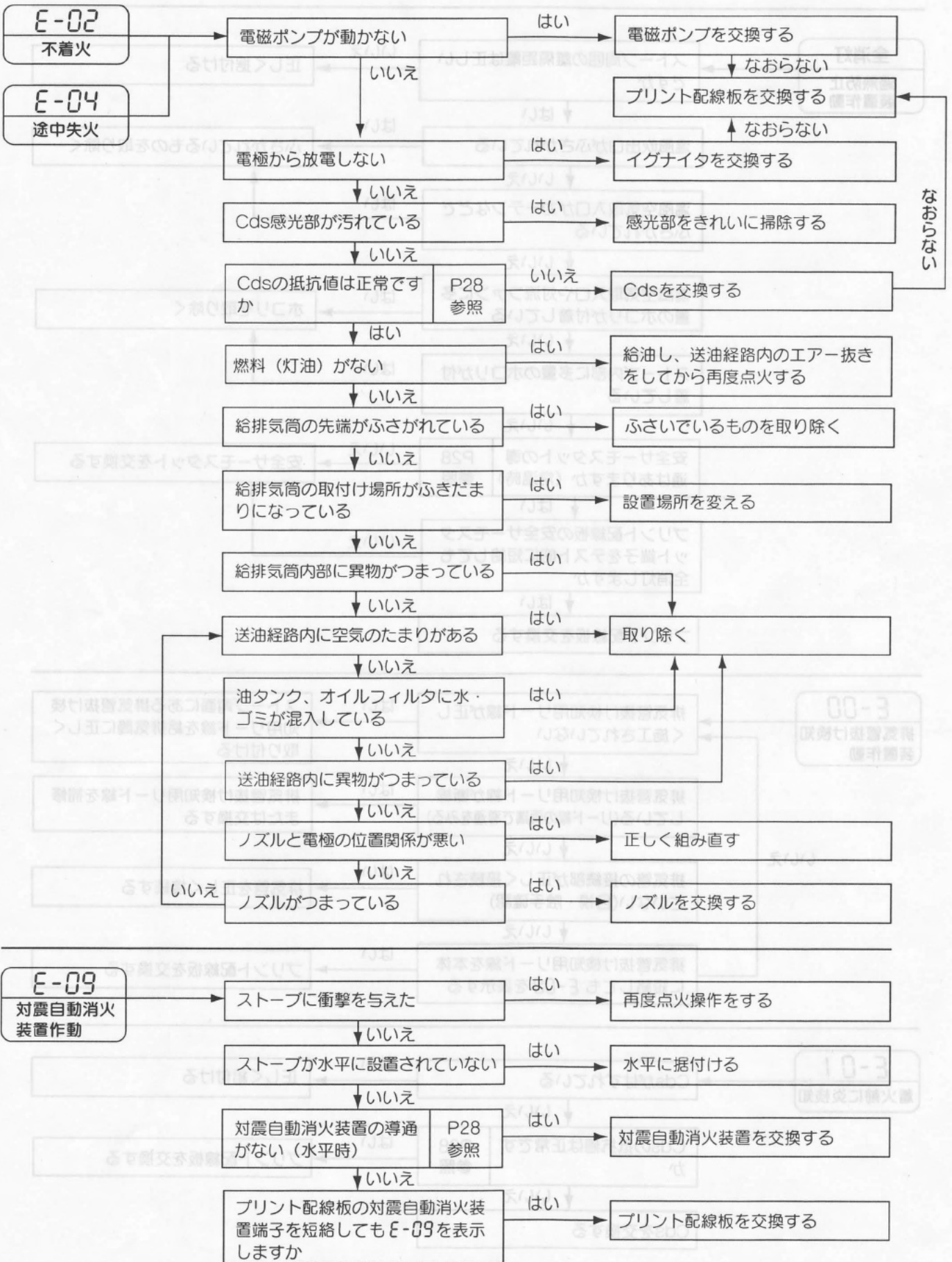


E-00
排気管抜け検知装置作動



E-01
着火前に炎検知





E-10

室温異常上昇
防止装置作動

部屋の室温が40℃以上にあがっている

いいえ

窓を開け部屋の換気をする

いいえ

ルームサーミスタの周囲に熱気がたまりやすい状態になっている

はい

ルームサーミスタの周囲またはストーブの周囲(設置状況)を見直す

いいえ

ルームサーミスタの抵抗値は正常ですか

P28
参照

はい

プリント配線板を交換する

いいえ

ルームサーミスタを交換する

E-EE

停電があった

電源コードを抜いた

はい

再度点火操作をする

いいえ

停電があった

はい

再度点火操作をする

いいえ

電源プラグがコンセントに根元まで差し込まれていない

はい

電源プラグを確実に差し込み、再度点火操作をする

いいえ

電源コードに破損がある

はい

電源コードを交換する

いいえ

プリント配線板のコネクター部分にガタツキや差し込み不良がある

はい

ガタツキや差し込み不良を直す

いいえ

プリント配線板を交換する